【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和6年6月3日(2024.6.3)

【公開番号】特開2023-80079(P2023-80079A)
【公開日】令和5年6月8日(2023.6.8)
【年通号数】公開公報(特許)2023-106
【出願番号】特願2023-39957(P2023-39957)
【国際特許分類】
A41D 13/00(2006.01)
A41D 3/00(2006.01)
A41D 27/10(2006.01)
A41D 31/00(2019.01)
A41D 31/02(2019.01)
D04B 21/00(2006.01)
D04B 21/18(2006.01)
B32B 27/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｄ 13/00 １１５
Ａ４１Ｄ 3/00 Ｋ
Ａ４１Ｄ 3/00 Ａ
Ａ４１Ｄ 3/00 Ｂ
Ａ４１Ｄ 27/10 Ｃ
Ａ４１Ｄ 31/00 ５０２Ｄ
Ａ４１Ｄ 31/02 Ａ
Ｄ０４Ｂ 21/00 Ａ
Ｄ０４Ｂ 21/18
Ｂ３２Ｂ 27/12

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月24日(2024.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
編み物からなる生地を含んで構成された衣類であって、
前記生地は、低伸度部と、前記低伸度部よりも高い伸度を有する高伸度部と、前記低伸度部よりも伸度が高く前記高伸度部よりも低い伸度を備えた中間伸度部とを備え、
前記低伸度部と前記高伸度部と前記中間伸度部とは、一つの生地において編分けで形成されており、
前記低伸度部は、第１強締付組織と、前記第１強締付組織よりも締め付け強度が弱い第２強締付組織とによって構成され、
前記高伸度部は、前記低伸度部よりも締め付け強度の弱い弱締付組織によって構成され、
前記中間伸度部は、前記低伸度部から連続する前記第２強締付組織と前記高伸度部から連続する前記弱締付組織とで構成されている
衣類。
【請求項２】

前記低伸度部は、前記第１強締付組織と前記第２強締付組織とが交互に配置され、
前記中間伸度部は、前記第２強締付組織と前記弱締付組織とが交互に配置されている
請求項１に記載の衣類。
【請求項３】
前記生地は、前身頃、後ろ身頃、及び、袖部のうち少なくとも一つを有するパターンを構成し、
前記前身頃及び／または後ろ身頃における伸度は、体幅方向の伸度に対応し、
前記袖部における伸度は、腕の長さ方向の伸度に対応し、
前記前身頃と前記後ろ身頃と前記袖部との少なくとも１つに設けられた前記高伸度部の引張弾性率は、前記低伸度部の引張弾性率の０．３倍以上０．９倍以下に設定されている
請求項１または請求項２に記載の衣類。
【請求項４】
前記前身頃及び／または前記後ろ身頃における伸度は、体幅方向の伸度に対応し、
前記袖部における伸度は、腕の長さ方向の伸度に対応し、
前記前身頃と前記後ろ身頃と前記袖部との少なくとも１つに設けられた前記高伸度部の３０％伸長時の応力は、０．０６Ｎ／ｍｍ以上０．３Ｎ／ｍｍ以下である請求項３に記載の衣類。
【請求項５】
前記低伸度部は、前記前身頃の前身頃の幅方向中央で首元から裾にかけて連続して設けられている
請求項３に記載の衣類。
【請求項６】
前記生地の裏側には、透湿防水性を有するフィルムが貼り付けられている
請求項１または請求項２に記載の衣類。